

都市づくりのグランドデザイン

● 目指すべき未来の東京を示す政策

東京都は、2040年代における東京の都市像の基本方針を示した「都市づくりのグランドデザイン」を公表しました。これは、目指すべき東京の都市の姿と、その実現に向けた都市づくりの基本的な方針と具体的な方策を示したものです。

将来、私たちが暮らす東京の姿はどのようなものとなるのでしょうか。今回は、この「都市づくりのグランドデザイン」の概要についてみていきます。

● 2040年代の状況から東京が担う役割を想定

「都市づくりのグランドデザイン」は、将来の社会経済情勢の変化に対応し、持続可能な成長を促すため、2040年代を目標時期として設定されたもので、都が掲げる「2020年に向けた実行プラン」の3本柱(セーフシティ、ダイバーシティ、スマートシティ)実現の礎となる都市づくりを推進します。

具体的には、2040年代の社会状況等の見込みや、都民の活動イメージを想定し、これを踏まえた「東京が果たすべき役割」が以下のように設定されています。

〈世界における役割〉

- ・包容力を持ち、多様な人々・文化の交流を育む
- ・都市課題の先駆的な解決モデルを構築・発信する
- ・伝統と先進を融合させ、新たな価値を創出する

〈日本における役割〉

- ・日本の首都として経済活動の推進力を発揮する
- ・様々な地域と連携し、一層魅力的な日本を創造・発信する

● 活力とゆとりある高度成熟都市を目指して

こうした東京の役割から、都市づくりの目標「活力とゆとりある高度成熟都市」が定められ、「東京は、新たな価値を生み続ける舞台として世界中の人々から選択されるとともに、個々人が、様々な地域で住まい方、働き方、憩い方を選択できることを目指す。高度に成熟した

都市として、ESG(環境Environment、社会Social、ガバナンスGovernance)の概念も取り込み、最先端技術も活用しながらゼロエミッション(※1)東京を目指し、地球環境と調和を図り持続的に発展していく。みどりを守り、まちを守り、人を守る。あわせて東京ならではの価値を高める。そのような都市・東京を実現していく。」とされています。

また、目指すべき都市像の実現に向けて、分野横断的な視点から7つの戦略(1. 持続的な成長を生み、活力にあふれる拠点を形成、2. 人・モノ・情報の自由自在な交流を実現、3. 災害リスクと環境問題に立ち向かう都市の構築、4. あらゆる人々の暮しの場の提供、5. 利便性の高い生活の実現と多様なコミュニティの創出、6. 四季折々の美しい緑と水を編み込んだ都市の構築、7. 芸術・文化・スポーツによる新たな魅力を創出)、30の政策方針、80の取組を示しています。

● 都民や民間事業者が連携した都市づくりを

都は今後、このグランドデザインを広く都民や民間事業者、区市町村などと共有し、東京ならではの価値を高める都市づくりに取り組んでいく予定です。

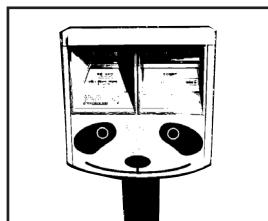
「都市づくりのグランドデザイン」の詳しい内容は、東京都都市整備局のホームページから全文(<http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/09/01/11.html>)および概要版(http://www.metro.tokyo.jp/tosei/hodohappyo/press/2017/09/01/documents/11_00.pdf)がご覧いただけます。また、都民情報ルーム(都庁第一本庁舎3階北側)で冊子版の閲覧、販売(1冊670円)も行っています。なお、「都市づくりのグランドデザイン」についてのお問い合わせは、都市整備局都市づくり政策部広域調整課(03-5388-3383)までお願いします。

(※1)企業や自治体などが廃棄物をゼロにする為、原料や燃料として再利用を図る活動。

COFFEE BREAK

投函してみたい！パンダのポスト

赤ちゃんパンダ「シャンシャン」の誕生に沸く上野動物園。12月中旬頃にお披露目が予定されており、その姿をひと目見ようという方も多いかと思われませんが、動物園の表門入口のそばに、ジャイアントパンダ模様の「パンダ型ポスト」があるのをご存知でしょうか。パンダ模様というだけでも注目を集めて



いますが、このポストにハガキや手紙を投函すると、ジャイアントパンダや西郷隆盛像が描かれた風景印の消印を押してもらえる特典があるそうです。郵便物を受け取った人は特別な消印に少し嬉しい気持ちになるかもしれません。上野動物園を訪れる際は、ハガキや手紙を用意してみたいはいかがでしょうか。